

横尾議員 私からは、町ホームページを集客も可能なツールとして活用しなければ。について質問です。現在、出羽島・牟岐アート展が開催中であります。上々のすべり出しで、この牟岐町に大勢の人が来てくれています。9日の日曜日に観光バスが駐車されていたのでお話を伺うと、香川県の観音寺市からで、同窓会の団体でした。このアート展はネットで調べてきたとのことでした。このときは、専用のHPが役立っていると思いました。やはりネットの時代なのです。さて、町HPですが、主に地元民への情報発信がメインであり、外部に情報発信をしているとは言えない状況です。海部郡内の他町のHPと比較すれば、特に観光情報に関して非常に不利です。一度、郡内他町のホームページをご覧になり確認してください。最低でも外向けに観光スポット・マップ、年間イベント、衣食住等の情報発信をしていただきたいと思います。町HPでは、リンク先の千年サンゴの里のHPからの観光情報等の発信となっていますが、この4月からは移転し活性化センターとして運営していくとのことなので、そのHPは削除されると思われます。ちなみに、活動内容によるでしょうが、活性化センターのHPは作成するのですか。お聞きします。それから、牟岐町観光協会は組織としてありますが、HP等作成ができる団体ではありませんし、まして観光情報を発信していくなど、とても不可能です。ですから、あえて町に取り組んで欲しいと思います。また、牟岐町の貴重な観光資源である千年サンゴですが、これを守る千年サンゴと生きるまちづくり協議会メンバーとして保全活動を支援するサポーターを町HP上で募集したりとかはできるはずです。そういうことでは常にHPは営業、集客ツールとして町職員には意識して欲しいと思います。町として、今後も移住定住促進、交流人口の増加は目指していかなければなりません。そのためにもHPは文句も言わず24時間働いてくれる、重ねて言いますが、営業ツールであり集客ツールです。また、本町の顔ともなります。是非、充実したHPを作成していただきたいと思います。今後の新規、更新について反映していただけますか。お聞きします。続きまして、健康管理センターをもっと宣伝し興味深い施設として募集しては。についてですが、募集してはではなく営業してはと読み替えてください。この件では問い合

わせがないと聞いていて、非常にまずい状況であると思っています。今の譲渡に関するお知らせでは、希望者は電話くださいとの案内のみです。先ほどHPは営業、集約ツールと言いましたが、今のHP上にある案内では文書のみで、惹きつけるものがありません。例えば、施設の写真、動画、牟岐町の紹介動画等で視覚に訴えるプレゼンをHP上でできないか。24時間の営業マンなのだから、もっと工夫をしたプレゼン案内にして欲しいと思うが、どうでしょうか。更新できますか。以上、お答えよろしくお願いします。

杣富議長 横尾議員、前もって募集で一般質問を通告していますので、営業としての答弁はないかも分かりませんが、その点、よろしくお願いします。福井町長。

福井町長 横尾議員のご質問にお答えいたします。まず、町HPの活用についてでございますが、一次産業において、かつてのような収入の確保が困難となっている中、それを補うための2次、3次産業の活性化はどうしても必要であると考えております。従いまして、少しでも交流人口を増やすための観光の進行や物品の販売促進は、行政としても積極的に取り組んでいかなければならない課題であると考えております。そこで、牟岐町HPを駆使しての観光振興、物産の販売などのPRを、というご主旨かと思われませんが、議員ご指摘のとおり牟岐町のHPだけでは、観光PRでは十分ではないことは認識いたしておりますが、商工会をはじめ、物産館、よくばり体験、モラスコむぎなどで、独自のHPを作成していただいております、リンクもしていることから、町のHPを通じて、簡単に情報の取得は可能かと考えております。ただ、他町に比べ、町有面積も小さく観光施設が少ないことや観光協会のHPが無いことから、情報量は確かに少なくなっております。従いまして、ご指摘のとおり、牟岐町各課の情報も、もう少し充実させる必要があると思いますので、今後、より町のPRに役立つようなHPの作成に努めてまいりたいと考えております。つぎに健康管理センターのHPでのPRについてでございますが、先の公募の時点では、

町のHPに写真も掲載しておりましたが、現在は掲載しておりません。といいますのも、掲載すれば、営業しているのではないかと勘違いして、遠方からご来場される方がいるかもしれないとの配慮からでございます。また、金融機関やサテライトオフィスの経営者等には、詳細の地図や図面の他、写真もふんだんに掲載したものをお渡しし、ご説明いたしておりますし、その気になれば、鬼ヶ岩屋温泉で検索すれば、未だに開業時の写真も見ることが可能でございます。しかしながら、議員ご指摘のように、休業である旨、解りやすく注意文を入れ、写真などを掲載した方が、譲渡の可能性を高めるために効果的かもしれないので、再度、検討してみたいと思います。今後、引き続き、譲渡について、新たな企業等をお願いにまいりたいと思いますし、先ほど申しましたように、最悪の場合の展開についても検討してまいりたいと考えております。

杣富議長 久米産業課長。

久米産業課長 私の方からは、牟岐町のホームページについて、少し補足なり、特に観光面の担当課としての補足をさせていただきたいと思います。全般的に牟岐町ホームページが脆弱であるというようなご指摘であったと思います。議員がおっしゃるとおり、情報通信技術の発達によりまして、今やインターネット通信による情報伝達は、速度と多様性によって通信手段の最高峰である。これは間違いないというふうに私どもも認識いたしております。ご質問は、特に外部からのアクセスに対しての対応であると思いますが、現在、牟岐町では県内の多くの市町村が利用しているフォーマット、基本の形式を採用しております。自由度という点では、ある程度の誓約もございます。特に観光のカテゴリにおきましては、スピーディーで細かな情報更新と戦略的な情報の発信技術が求められるページであると認識しておりまして、現在は、その殆ど外部のリンクに依存しているのが、ご指摘のとおり現状であると思います。他市町村の状況につきましても、これは担当課ですので、くまなく拝見いたしております。自治体独自で作成しているところもあれば、それを地域おこし隊の専門的技術

者が完成度の高いページの作成にしているところもございますし、商工会をはじめ観光協会等の外部リンクとの連携で素晴らしいページをお持ちの市町村も多くあることは、これも認識しているところでございます。ただ、町からのホームページの発信ということになりますと、例えば、特定業種をPRすることの難しさがございましたり、民間業務を町がそのまま請け負うこと、是非等もなかなかそう簡単には、表に出せない部分もございます。その辺はご理解をいただきまして、現在、考えられる対応といたしましては、町のトップページからトピックやバナーによりまして、サイトなどへ誘導を促すというような工夫が、まず取りかけられる対応であるかというふうに考えております。ご提案にもございましたが、もちろん、予定しております活性化センターにおきましては、その観光協会業務というのも想定してございます。もちろん、ホームページは作る予定でございます。そこで情報サイトの更なる充実、強化はもとより、受け皿となる牟岐町の観光事業の振興策を打ち出していきたいというふうに考えております。

枅富議長 横尾議員。

横尾議員 認識されているということなので、安心しておりますが、やはり見劣りするの仕方がないことなので、活性化センターにおいて、新しくホームページを作られるということに対して期待したいと思います。先ほど町長の答弁で健康管理センターについてですが、樫谷議員の質問の中で景気が回復の波がきていないのが原因ではないかということがありまして、公募期間はなされていないというふうな答弁がありました。ということももってみましても町議的な視点でもって健康管理センターを譲渡していくというふうな視点からもPRできるようなプレゼンにしてほしいと思います。以上、私の質問を終わります。